## **ダイワ米国MLPファンド (毎月分配型)**

米ドルコース

日本円コース 通貨αコース 第 113 期 (決算日 2024年 5 月20日)

第 114 期 (決算日 2024年 6 月20日)

第 115 期 (決算日 2024年 7 月22日)

第 116 期 (決算日 2024年 8 月20日)

第 117 期 (決算日 2024年 9 月20日) 満期償還 (償還日 2024年10月18日)

### 大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

大和アセットマネジメント株式会社 東京都千代田区丸の内一丁目9番1号 お問い合わせ先(コールセンター) TEL 0120-106212 (営業日の9:00~17:00) https://www.daiwa-am.co.jp/

## ダイワ米国MLPファンド(毎月分配型) 米ドルコース

<5643>

#### 追加型投信/海外/その他資産

第113期	2024年 5 月20日決算	第116期	2024年 8 月20日決算
第114期	2024年 6 月20日決算	第117期	2024年 9 月20日決算
第115期	2024年7月22日決算	満期償還	2024年10月18日償還

#### 受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げ ます。

当ファンドは、エネルギーや天然資源等に関連す る米国のMLP(マスター・リミテッド・パート ナーシップ)等へ投資し、信託財産の成長をめざし ており、信託期間中につきましてもそれに沿った運 用を行ないました。ここに、謹んで運用状況と償還 の内容をお知らせいたします。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い 申し上げます。

償還時	基準価額	6,575円82銭
<b>原</b> 湿时	純資産総額	1,061百万円
第113期~償還期	騰落率	△0. 9%
第Ⅱ3朔~隕煜朔	分配金合計	50円

(注) 騰落率は分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなし て計算したものです。

### 大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

大和アセットマネジメント株式会社 東京都千代田区丸の内一丁目9番1号 https://www.daiwa-am.co.jp/

運用報告書に関するお問い合わせ先

▶ コールセンター 受付時間 9:00~17:00(営業日のみ) 0120-106212

お客様の口座内容に関するご照会は、 お申し込みされた販売会社にお問い合わせください。

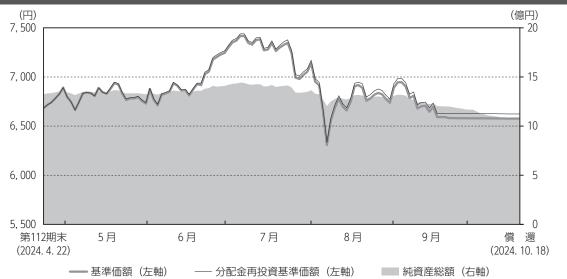
■当ファンドは、信託約款において「運用報告書(全体版)」に記載すべき事項を電磁的方法によりご提供する ことを定めており、以下の手順で閲覧、ダウンロードいただけます。「運用報告書(全体版)」は受益者の方 からのご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社へお問い合わせください。



見やすく読みまちがえにくい ユニバーサルデザインフォント **FONT** を採用しています。

# 運用経過

#### 基準価額等の推移について



- (注) 分配金再投資基準価額は、当作成期首の基準価額をもとに指数化したものです。
- \*分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- \*分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります(分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります)。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

#### ■基準価額・騰落率

第113期首:6,683円

償 還 時:6,575円82銭 (既払分配金50円) 騰 落 率:△0.9% (分配金再投資ベース)

#### ■基準価額の主な変動要因

保有するMLP(※)市場へ投資するETF(上場投資信託)および川中事業を中心に行う普通株式が上昇したことはプラス要因となりましたが、米ドルが対円で下落(円高)したことがマイナス要因となり、基準価額は小幅に下落しました。

※MLPは、米国で行われている共同投資事業形態のひとつであり、その出資持分が米国の金融商品取引所等で取引されています。

#### 1万口当りの費用の明細

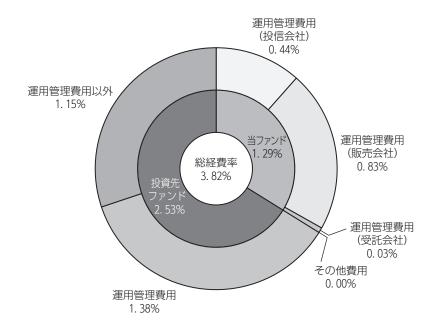
項目	<b>第113期</b> -(2024. 4. 23~	~ <b>償還期</b> -2024. 10. 18)	項 目 の 概 要			
	金額	比 率				
信託報酬	43円	0. 634%	信託報酬=当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 <b>当作成期中の平均基準価額は6,855円です</b> 。			
(投信会社)	(15)	(0. 216)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託会社への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価			
(販売会社)	(28)	(0. 405)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの 管理、購入後の情報提供等の対価			
(受託会社)	(1)	(0. 013)	受託会社分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価			
売買委託手数料	_	_	売買委託手数料=当作成期中の売買委託手数料/当作成期中の平均受益 権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料			
有価証券取引税	_	_	有価証券取引税=当作成期中の有価証券取引税/当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金			
その他費用	_	_	その他費用=当作成期中のその他費用/当作成期中の平均受益権口数			
合 計	43	0. 634				

- (注1) 当作成期中の費用 (消費税のかかるものは消費税を含む) は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便 法により算出した結果です。
- (注2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。
- (注3) 各比率は1万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第3位未満を四捨五入してあります。
- (注4)組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券(マザーファンドを除く。)がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

#### 参考情報·

#### ■総経費率

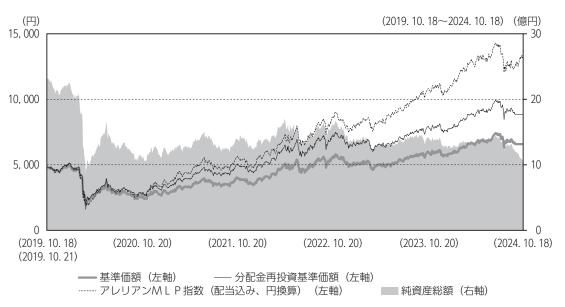
当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を、期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額(1口当り)を乗じた数で除した総経費率(年率)は3.82%です。



総経費率 ( ① + ② + ③ )	3. 82%
①当ファンドの費用の比率	1. 29%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	1. 38%
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	1. 15%

- (注1) 投資先ファンドとは、当ファンドが組み入れている投資信託証券(マザーファンドを除く。)です。
- (注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。
- (注3) 投資先ファンドにおいて、MLP投資に関連して還付が見込まれる税金および還付された税金を含みません。
- (注4) 各比率は、年率換算した値です。
- (注5) ①の費用は、1万口当りの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。
- (注6) ①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含みます。
- (注7) ①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。
- (注8) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

#### 最近5年間の基準価額等の推移について



(注) 分配金再投資基準価額および参考指数は、2019年10月18日の基準価額をもとに指数化したものです。

※参考指数はアレリアンMLP指数(配当込み、円換算)です。参考指数は投資対象資産の市場動向を説明する代表的な指数として記載しております。

		2019年10月21日 期初	2020年10月20日 決算日	2021年10月20日 決算日	2022年10月20日 決算日	2023年10月20日 決算日	2024年10月18日 償還時
基準価額	(円)	4, 794	2, 508	3, 999	5, 565	5, 990	6, 575. 82
期間分配金合計 (税込み)	(円)		360	360	120	120	110
分配金再投資基準価額の 騰落率	(%)	_	△41. 4	78. 0	42. 9	10. 1	11.7
アレリアンMLP指数 (配当込み、円換算)騰落率	(%)	_	△43. 5	105. 7	53. 9	25. 3	22. 0
純資産総額	(百万円)	2, 304	1, 100	1, 390	1, 612	1, 417	1, 061

- (注1) 比率は小数点第1位未満を四捨五入してあります。
- (注 2 ) アレリアンM L P 指数(配当込み、円換算)は、Alerian MLP Total Return Index(米ドルベース)をもとに大和アセットマネジメントが円換算したものです。Alerian MLP Total Return Index(米ドルベース)は GKD Index Partners LLC d/b/a Alerian が算出しており、その商標を有しています。
- (注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。
- (注4) 指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。

#### 設定以来の投資環境について

 $(2014. 10. 21 \sim 2024. 10. 18)$ 

#### ■MLP市況

MLP市況は上昇しました。

MLP市場は、当ファンド設定時から2015年にかけて、軟調な原油価格やチャイナショックなどを受け、下落しました。2016年は、原油価格が底打ちしたこと、また米国トランプ政権の税制改革やインフラ投資政策への期待感などから、堅調に推移しました。2017年から2019年にかけては、米中貿易摩擦による地政学リスクの高まりが警戒される中で、一進一退の推移となりました。2020年に入ると、新型コロナウイルスの感染拡大に伴い市場のボラティリティが高まったことから一時大幅に下落しましたが、その後、米国や欧州を中心とした積極的な金融・財政政策を受けて反発し、2021年にかけて堅調に推移しました。また2022年以降も、グローバルな供給制約などを受けたインフレの加速や、ロシア・ウクライナ情勢および中東情勢の緊迫化による地政学リスクの高まりなどを背景に下落する場面も見られましたが、インフレ鈍化の兆候や利下げ観測の高まり、底堅い原油価格などが下支えとなり、上昇基調が継続しました。

#### ■為替相場

米ドル円為替相場は上昇(円安)しました。

米ドルの対円為替相場は、当ファンド設定時から2015年中ごろにかけて、日銀の量的・質的金融緩和政策の拡大などが材料視され、円安米ドル高が進行しました。2019年末にかけては、英国のEU(欧州連合)離脱や米中貿易摩擦を背景にリスク回避の動きが広まったことから、米ドルは対円で下落しました。2020年は、新型コロナウイルスの世界的な感染拡大からリスク回避の動きが広がったことなどによる、一時的な円買いの動きから円高米ドル安基調で推移する場面も見られました。2021年以降は、米国では、金融政策正常化が意識されて米国金利が上昇した一方で、日銀は断続的に金利上昇を抑制する姿勢を示したことから、日米の金融政策の相違が意識され、円安米ドル高が進行しました。

#### 信託期間中の運用方針

#### ■当ファンド

主として、「アメリカンMLPファンド(ノンヘッジクラス)」の受益証券を通じて、エネルギーや天然資源等に関連する米国のMLP(マスター・リミテッド・パートナーシップ)等へ投資し、信託財産の成長をめざして運用を行います。

※アメリカンMLPファンド (ノンヘッジクラス): CBREクラリオン・トラストーダイワ/ クラリオン・アメリカンMLPファンド (ノンヘッジクラス)

#### ■アメリカンMLPファンド(ノンヘッジクラス)

良好な財務体質、生産性の高い地域における施設の保有、低いカウンターパーティーリスク(取引相手の信用リスク)、優れた経営陣を有する企業が選好されると考えており、これらを重視したポートフォリオを構築します。

#### ■ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

#### 信託期間中のポートフォリオについて

 $(2014. 10. 21 \sim 2024. 10. 18)$ 

#### ■当ファンド

当ファンドは、「アメリカンMLPファンド(ノンヘッジクラス)」と「ダイワ・マネー・マザーファンド」へ投資するファンド・オブ・ファンズです。ファンド設定以降、「アメリカンMLPファンド(ノンヘッジクラス)」を高位に組み入れました。

#### ■アメリカンMLPファンド(ノンヘッジクラス)

マクロ経済、エネルギー需要、地域別、業種別の動向を分析するトップダウン・アプローチと、個別銘柄の配当の安定性や成長性、経営陣の質、バリュエーションなどに焦点を当て分析するボトムアップ・アプローチを組み合わせて、ポートフォリオを構築しました。セクターについては、パイプラインや貯蔵施設などを運営する川中事業に焦点を当て、地域やエネルギー種別(天然ガス、原油、石油精製品、天然ガス液)、川中事業における役割(集積、処理、輸送、貯蔵)などを考慮して分散投資を行いました。

なお、ファンド満期償還時の税制面への対応のため、2022年12月に保有するMLPをすべて売却し、MLP市場へ投資するETF(上場投資信託)および川中事業を中心に行う普通株式を組み合

わせたポートフォリオへ切替えを行いました。

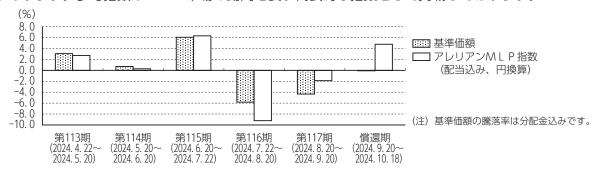
#### ■ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債、現先取引やコール・ローン等による運用を行いました。

#### ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

以下のグラフは、当作成期における当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。当ファンドは、参考指数と比較して「原油・精製品パイプライン、貯蔵」の組入比率が低いという特徴があります。参考指数はMLP市場の動向を表す代表的な指数として掲載しております。



#### 分配金について

1万口当り、第1期〜第82期各30円、第83期〜第117期各10円の収益分配を行いました。 また、第113期〜第117期の収益分配金の決定根拠は下記「収益分配金の計算過程(1万口当り)」 をご参照ください。なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用いたしました。

#### ■分配原資の内訳(1万口当り)

				第113期	第114期	第115期	第116期	第117期
	項			2024年 4 月23日	2024年5月21日	2024年6月21日	2024年7月23日	2024年8月21日
				~2024年5月20日	~2024年6月20日	~2024年7月22日	~2024年8月20日	~2024年9月20日
当期	月分配金(税	込み)	(円)	10	10	10	10	10
	対基準価額	額比率	(%)	0. 15	0.14	0.14	0.14	0. 15
	当期の収益	益	(円)	6	5	6	_	_
	当期の収益	益以外	(円)	3	4	3	10	10
翌期	繰越分配效	付象額	(円)	282	277	273	263	253

- (注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。
- (注2) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金(税込み) に合致しない場合があります。
- (注3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。
- (注4)投資信託の計理上、「翌期繰越分配対象額」は当該決算期末時点の基準価額を上回る場合がありますが、実際には基準価額を超える額の分配金をお支払いすることはございません。

#### ■収益分配金の計算過程(1万口当り)

項目		第113期		第114期		第115期		第116期	ģ.	第117期
(a) 経費控除後の配当等収益	✓	6. 14円	✓	5.52円	✓	6. 22円		0.00円		0.00円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益		0.00		0.00		0.00		0.00		0.00
(c) 収益調整金	1	286. 08	/	282. 23	/	277. 76	/	273. 99	/	263. 99
(d) 分配準備積立金		0.00		0.00		0.00		0.00		0.00
(e) 当期分配対象額 (a+b+c+d)		292. 23		287. 76		283. 99		273. 99		263. 99
(f) 分配金		10.00		10.00		10.00		10.00		10.00
(g) 翌期繰越分配対象額 (e-f)		282. 23		277. 76		273. 99		263. 99		253. 99

<sup>(</sup>注) ✓を付した該当項目から分配金を計上しています。

受益者のみなさまにおかれましては、当ファンドをご愛顧いただき厚く御礼申し上げます。今後とも証券投資信託の運用につきましては、受益者のみなさまのご期待に沿えますよう万全を期して努力する所存でございますので、一層のご愛顧を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

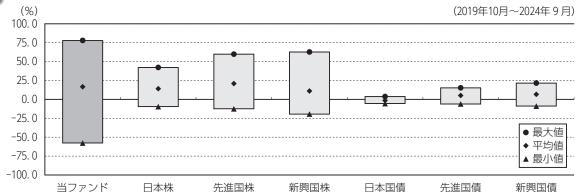


# | 当ファンドの概要

商	品	分	類	追加型投信/海外/	自加型投信/海外/その他資産					
信	託	期	間	2014年10月21日~20	14年10月21日~2024年10月18日					
運	用	方	針	信託財産の成長をめ	ざして運用を行ないます。					
主	主要投資対象		象	イ. ケイマン籍の外国投資信託「CBREクラリオン・トラスト-ダイワ/クラリオン・ア MLPファンド (ノンヘッジクラス) 」 (以下「アメリカンMLPファンド (ノンヘッジクラ いいます。) の受益証券 (円建) ロ. ダイワ・マネー・マザーファンドの受益証券						
				ダイワ・マネー・ マザーファンド 本邦通貨表示の公社債						
		ァ ン 用 方		のMLP(マスター ②当ファンドは、ア オブ・ファンズです 本とします。	カンMLPファンド(ノンヘッジクラス)の受益証券を通じて、エネルギーや天然資源等に関連する米国・リミテッド・パートナーシップ)等へ投資し、信託財産の成長をめざして運用を行ないます。 メリカンMLPファンド(ノンヘッジクラス)とダイワ・マネー・マザーファンドに投資するファンド・。通常の状態で、アメリカンMLPファンド(ノンヘッジクラス)の投資割合を高位に維持することを基ファンド(ノンヘッジクラス)では、為替変動リスクを回避するための為替ヘッジは原則として行ないま					
		ファン 用 方		①わが国の公社債を中心に安定運用を行ないます。 ②邦貨建資産の組み入れにあたっては、取得時に第二位(A – 2 格相当)以上の短期格付であり、かつ残存期間が 1 年未満の 短期債、コマーシャル・ペーパーに投資することを基本とします。						
分	配	方	針		控除後の配当等収益と売買益(評価益を含みます。)等とし、原則として、継続的な分配を行なうことを  水準を勘案して分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行なわないことが					



## 代表的な資産クラスとの騰落率の比較



	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
最 大 値	77. 8	42. 1	59. 8	62. 7	3. 7	15. 3	21. 5
平 均 値	16. 6	14. 1	20. 9	11. 1	△ 1.5	5. 2	6.8
最 小 値	△ 57. 6	△ 9.5	△ 12. 4	△ 19. 4	△ 5. 5	△ 6. 1	△ 8.8

上記の図表は、ファンドと代表的な資産クラスを定量的に比較できるように作成したもので、過去5年間における年間騰落率(各月末における直近1年間の騰落率)の平均・最大・最小を、ファンドおよび他の代表的な資産クラスについて表示しています。

※各資産クラスは、ファンドの投資対象を表しているものではありません。

- ※ファンドの年間騰落率は、分配金(税引前)を分配時にファンドへ再投資したものとみなして計算したものであり、実際の基準価額に基づいて 計算した年間騰落率とは異なる場合があります。
- ※ファンドの年間騰落率において、過去5年間分のデータが算出できない場合は以下のルールで表示しています。
  - ①年間騰落率に該当するデータがない場合には表示されません。
  - ②年間騰落率が算出できない期間がある場合には、算出可能な期間についてのみ表示しています。
- ③インデックスファンドにおいて、①②に該当する場合には、当該期間についてベンチマークの年間騰落率で代替して表示します。
- ※上記の騰落率は直近月末から60カ月さかのぼった算出結果であり、決算日に対応した数値とは異なります。

※資産クラスについて

日本株……配当込みTOPIX

先進国株……MSCIコクサイ・インデックス(配当込み、円ベース)

新興国株………MSCIエマージング・マーケット・インデックス(配当込み、円ベース)

日本国債……NOMURA-BPI国債

先進国債………FTSE 世界国債インデックス (除く日本、円ベース)

新興国債………JPモルガン ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケッツ グローバル ダイバーシファイド(円ベース) ※指数について

●配当込みTOPIXの指数値および同指数にかかる標章または商標は、株式会社JPX総研または株式会社JPX総研の関連会社(以下「JPX」といいます。)の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用など同指数に関するすべての権利・ノウハウおよび同指数にかかる標章または商標に関するすべての権利はJPXが有します。JPXは、同指数の指数値の算出または公表の誤謬、遅延又は中断に対し、責任を負いません。●MSCIコクサイ・インデックスおよびMSCIエマージング・マーケット・インデックスは、MSCIには、MSCIによって保証、推奨、または宣伝されるものではなく、MSCIは本ファンドが基づいているインデックスに関していかなる責任も負いません。免責事項全文についてはこちらをご覧ください。[https://www.daiwa-am.co.jp/specialreport/globalmanket/notice.html] ●MOMURA —BPI国債は、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社とに算出されます。NOMURA —BPI国債の市場全体の動向を表す投資収益指数で、一定の組み入れ基準に基づいて構成された国債ポートフォリカのプフォーマンスをもとに算出されます。NOMURA —BPI国債の知的財産権とその他一切の権利は野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社に帰属しています。また、同社は当該指数の正確性、完全性、有用性を保証するものではなく、ファンドの連用成果等に関して一切責任を負いません。●FTSE世界国債インデックスは、FTSE Fixed Income LLC により運営されている債券インデックスです。同指数はFTSE Fixed Income LLC により運営されている債券インデックスです。同指数はFTSE Fixed Income LLC が有しています。●JPモルガン ガバメント・ボンド・インデックスーエマージング・マーケッツ グローバル ダイパーシファイドは、信頼性が高いとみなす情報に基づき作成していますが、J.P. Morgan はその完全性・正確性を保証するものではありません。本指数は許諾を受けて使用しています。J.P. Morgan からの書面による事前承認なしに本指数を複製・使用・頒布することは認められていません。Copyright 2016、J.P. Morgan Chase & Co. All rights reserved. (注)海外の指数は、為替へッジなしによる投資を規定して、円検算しております。



#### 当ファンドの組入資産の内容

最終期末における有価証券等の組み入れはありません。

#### 純資産等

項	B	第113期末	第114期末	第115期末	第116期末	第117期末	償還時
以	Н	2024年5月20日	2024年6月20日	2024年7月22日	2024年8月20日	2024年 9 月20日	2024年10月18日
純資産総額		1, 354, 506, 196円	1, 358, 862, 440円	1, 408, 579, 670円	1, 312, 168, 187円	1, 198, 863, 643円	1, 061, 745, 944円
受益権総口数		1, 969, 261, 880	1, 964, 492, 565	1, 922, 777, 944	1, 904, 423, 935	1, 821, 629, 059	1, 614, 621, 014
1万口当り基準	隼価額	6,878円	6, 917円	7, 326円	6,890円	6, 581円	6,575円82銭

<sup>\*</sup>当作成期間(第113期〜償還期)中における追加設定元本額は4,178,651円、同解約元本額は372,719,228円です。

<sup>\*</sup>組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書(全体版)でご覧いただけます。

## ダイワ米国MLPファンド(毎月分配型) 日本円コース

<5644>

#### 追加型投信/海外/その他資産

第113期	2024年 5 月20日決算	第116期	2024年 8 月20日決算
第114期	2024年6月20日決算	第117期	2024年 9 月20日決算
第115期	2024年7月22日決算	満期償還	2024年10月18日償還

#### 受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げ ます。

当ファンドは、エネルギーや天然資源等に関連す る米国のMLP(マスター・リミテッド・パート ナーシップ)等へ投資し、信託財産の成長をめざし ており、信託期間中につきましてもそれに沿った運 用を行ないました。ここに、謹んで運用状況と償還 の内容をお知らせいたします。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い 申し上げます。

償還時	基準価額	3,752円78銭
<b>原</b> 湿时	純資産総額	110百万円
第112期。 <i>1</i> 党温期	騰落率	6.6%
第113期~償還期	分配金合計	50円

(注) 騰落率は分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなし て計算したものです。

### 大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

大和アセットマネジメント株式会社 東京都千代田区丸の内一丁目9番1号 https://www.daiwa-am.co.jp/

運用報告書に関するお問い合わせ先

コールセンター 受付時間 9:00~17:00 (営業日のみ) 0120-106212

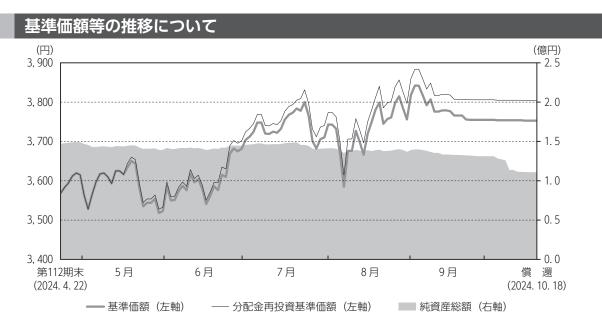
お客様の口座内容に関するご照会は、 お申し込みされた販売会社にお問い合わせください。

■当ファンドは、信託約款において「運用報告書(全体版)」に記載すべき事項を電磁的方法によりご提供する ことを定めており、以下の手順で閲覧、ダウンロードいただけます。「運用報告書(全体版)」は受益者の方 からのご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社へお問い合わせください。



見やすく読みまちがえにくい ユニバーサルデザインフォント **FONT** を採用しています。





- (注) 分配金再投資基準価額は、当作成期首の基準価額をもとに指数化したものです。
- \*分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- \*分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります(分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります)。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

#### ■基準価額・騰落率

第113期首:3,568円

償 還 時:3,752円78銭 (既払分配金50円) 騰 落 率:6.6% (分配金再投資ベース)

#### ■基準価額の主な変動要因

金利が高水準で推移する中、為替ヘッジコストはマイナス要因となりましたが、保有するMLP (※)市場へ投資するETF(上場投資信託)および川中事業を中心に行う普通株式が上昇したことがプラス要因となり、基準価額は上昇しました。

※MLPは、米国で行われている共同投資事業形態のひとつであり、その出資持分が米国の金融商品取引所等で取引されています。

#### 1万口当りの費用の明細

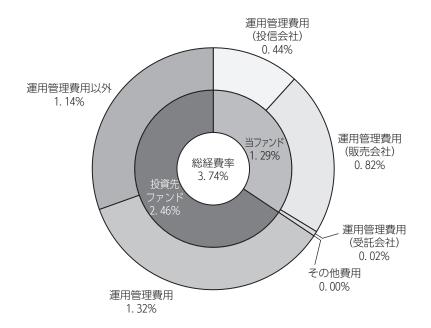
項目	第113期 (2024. 4. 23~	~ <b>償還期</b> -2024. 10. 18)	項 目 の 概 要
	金額	比率	
信託報酬	23円	0. 631%	信託報酬=当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 <b>当作成期中の平均基準価額は3,691円です</b> 。
(投信会社)	(8)	(0. 215)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託会社への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
(販売会社)	(15)	(0. 404)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの 管理、購入後の情報提供等の対価
(受託会社)	(0)	(0. 012)	受託会社分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売買委託手数料	_	_	売買委託手数料=当作成期中の売買委託手数料/当作成期中の平均受益 権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有価証券取引税	_	_	有価証券取引税=当作成期中の有価証券取引税/当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
その他費用	_	_	その他費用=当作成期中のその他費用/当作成期中の平均受益権口数
合 計	23	0. 631	

- (注1) 当作成期中の費用(消費税のかかるものは消費税を含む)は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便 法により算出した結果です。
- (注2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。
- (注3) 各比率は1万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第3位未満を四捨五入してあります。
- (注4)組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券(マザーファンドを除く。)がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

#### 参考情報·

#### ■総経費率

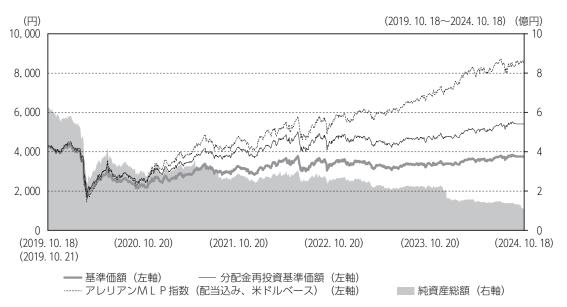
当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を、期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額(1口当り)を乗じた数で除した総経費率(年率)は3.74%です。



総経費率 ( ① + ② + ③ )	3. 74%
①当ファンドの費用の比率	1. 29%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	1. 32%
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	1. 14%

- (注1) 投資先ファンドとは、当ファンドが組み入れている投資信託証券(マザーファンドを除く。)です。
- (注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。
- (注3) 投資先ファンドにおいて、MLP投資に関連して還付が見込まれる税金および還付された税金を含みません。
- (注4) 各比率は、年率換算した値です。
- (注5) ①の費用は、1万口当りの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。
- (注6) ①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含みます。
- (注7) ①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。
- (注8) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

#### 最近5年間の基準価額等の推移について



(注) 分配金再投資基準価額および参考指数は、2019年10月18日の基準価額をもとに指数化したものです。

※参考指数はアレリアンMLP指数(配当込み、米ドルベース)です。参考指数は投資対象資産の市場動向を説明する代表的な指数として記載しております。

		2019年10月21日 期初	2020年10月20日 決算日	2021年10月20日 決算日	2022年10月20日 決算日	2023年10月20日 決算日	2024年10月18日 償還時
基準価額	(円)	4, 267	2, 247	3, 242	3, 390	3, 417	3, 752. 78
期間分配金合計(税込み)	(円)		360	360	120	120	110
分配金再投資基準価額の 騰落率	(%)	_	△40. 1	63. 8	8. 5	4. 5	13. 3
アレリアンMLP指数 (配当込み、米ドルベース) 騰落率	(%)	_	△42. 0	89. 4	17. 7	25. 3	21.8
純資産総額	(百万円)	625	291	285	260	226	110

- (注1) 比率は小数点第1位未満を四捨五入してあります。
- (注 2 ) アレリアンM L P 指数(配当込み、米ドルベース)騰落率は、Alerian MLP Total Return Index(米ドルベース)の原データをもとに大和アセットマネジメントが計算したものです。Alerian MLP Total Return Index(米ドルベース)は GKD Index Partners LLC d/b/a Alerian が算出しており、その商標を有しています。
- (注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。
- (注4) 指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。

#### 設定以来の投資環境について

 $(2014. 10. 21 \sim 2024. 10. 18)$ 

#### ■MLP市況

MLP市況は上昇しました。

MLP市場は、当ファンド設定時から2015年にかけて、軟調な原油価格やチャイナショックなどを受け、下落しました。2016年は、原油価格が底打ちしたこと、また米国トランプ政権の税制改革やインフラ投資政策への期待感などから、堅調に推移しました。2017年から2019年にかけては、米中貿易摩擦による地政学リスクの高まりが警戒される中で、一進一退の推移となりました。2020年に入ると、新型コロナウイルスの感染拡大に伴い市場のボラティリティが高まったことから一時大幅に下落しましたが、その後、米国や欧州を中心とした積極的な金融・財政政策を受けて反発し、2021年にかけて堅調に推移しました。また2022年以降も、グローバルな供給制約などを受けたインフレの加速や、ロシア・ウクライナ情勢および中東情勢の緊迫化による地政学リスクの高まりなどを背景に下落する場面も見られましたが、インフレ鈍化の兆候や利下げ観測の高まり、底堅い原油価格などが下支えとなり、上昇基調が継続しました。

#### 信託期間中の運用方針

#### ■当ファンド

主として、「アメリカンMLPファンド(円ヘッジクラス)」の受益証券を通じて、エネルギーや天然資源等に関連する米国のMLP(マスター・リミテッド・パートナーシップ)等へ投資し、信託財産の成長をめざして運用を行います。

※アメリカンMLPファンド(円ヘッジクラス): CBREクラリオン・トラストーダイワ/クラリオン・アメリカンMLPファンド(円ヘッジクラス)

#### ■アメリカンMLPファンド(円ヘッジクラス)

良好な財務体質、生産性の高い地域における施設の保有、低いカウンターパーティーリスク(取引相手の信用リスク)、優れた経営陣を有する企業が選好されると考えており、これらを重視したポートフォリオを構築します。

また、為替変動リスクを低減するため為替ヘッジを行います。

#### **■**ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

#### 信託期間中のポートフォリオについて

 $(2014. 10. 21 \sim 2024. 10. 18)$ 

#### ■当ファンド

当ファンドは、「アメリカンMLPファンド(円ヘッジクラス)」と「ダイワ・マネー・マザーファンド」へ投資するファンド・オブ・ファンズです。ファンド設定以降、「アメリカンMLPファンド(円ヘッジクラス)」を高位に組み入れました。

#### ■アメリカンMLPファンド(円ヘッジクラス)

マクロ経済、エネルギー需要、地域別、業種別の動向を分析するトップダウン・アプローチと、個別銘柄の配当の安定性や成長性、経営陣の質、バリュエーションなどに焦点を当て分析するボトムアップ・アプローチを組み合わせて、ポートフォリオを構築しました。セクターについては、パイプラインや貯蔵施設などを運営する川中事業に焦点を当て、地域やエネルギー種別(天然ガス、原油、石油精製品、天然ガス液)、川中事業における役割(集積、処理、輸送、貯蔵)などを考慮して分散投資を行いました。

なお、ファンド満期償還時の税制面への対応のため、2022年12月に保有するMLPをすべて売却し、MLP市場へ投資するETF(上場投資信託)および川中事業を中心に行う普通株式を組み合わせたポートフォリオへ切替えを行いました。

また、為替変動リスクを低減するため為替ヘッジを行いました。

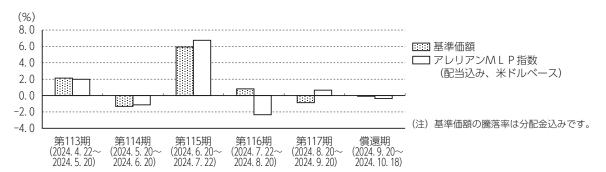
#### **■**ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債、現先取引やコール・ローン等による運用を行いました。

#### ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

以下のグラフは、当作成期における当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。当ファンドは、参考指数と比較して「原油・精製品パイプライン、貯蔵」の組入比率が低いという特徴があります。参考指数はMLP市場の動向を表す代表的な指数として掲載しております。



#### 分配金について

1万口当り、第1期〜第82期各30円、第83期〜第117期各10円の収益分配を行いました。 また、第113期〜第117期の収益分配金の決定根拠は下記「収益分配金の計算過程(1万口当り)」 をご参照ください。なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用いたしました。

#### ■分配原資の内訳(1万口当り)

			第113期	第114期	第115期	第116期	第117期
	項		2024年 4 月23日 ~2024年 5 月20日	2024年5月21日 ~2024年6月20日	2024年6月21日 ~2024年7月22日	2024年7月23日 ~2024年8月20日	2024年8月21日 ~2024年9月20日
11/11		7.\ (FT)				10	, , , , , , ,
当期	分配金(税込	み) (円)	10	10	10	10	10
	対基準価額比	公率 (%)	0. 27	0. 28	0. 26	0. 26	0. 27
	当期の収益	(円)	6	2	6	5	2
	当期の収益以	以外 (円)	3	7	3	4	7
理期	繰越分配対象	額(円)	337	329	326	321	313

- (注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。
- (注2) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金(税込み)に合致しない場合があります。
- (注3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。
- (注 4) 投資信託の計理上、「翌期繰越分配対象額」は当該決算期末時点の基準価額を上回る場合がありますが、実際には基準価額を超える額の分配金をお支払いすることはございません。

#### ■収益分配金の計算過程(1万口当り)

	項目		第113期	64.	第114期		第115期	84.	第116期	Š	<b>育117期</b>
(a)	経費控除後の配当等収益	/	6.09円	/	2.50円	/	6.30円	✓	5.70円	/	2. 13円
(b)	経費控除後の有価証券売買等損益		0.00		0.00		0.00		0.00		0.00
(c)	収益調整金	/	341. 17	/	337. 27	/	329. 77	/	326. 07	/	321. 78
(d)	分配準備積立金		0.00		0.00		0.00		0.00		0.00
(e)	当期分配対象額 (a+b+c+d)		347. 27		339. 77		336. 07		331. 78		323. 91
(f)	分配金		10.00		10.00		10.00		10.00		10.00
(g)	翌期繰越分配対象額(e - f)		337. 27		329. 77		326. 07		321. 78		313. 91

<sup>(</sup>注) ✓を付した該当項目から分配金を計上しています。

受益者のみなさまにおかれましては、当ファンドをご愛顧いただき厚く御礼申し上げます。今後とも証券投資信託の運用につきましては、受益者のみなさまのご期待に沿えますよう万全を期して努力する所存でございますので、一層のご愛顧を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

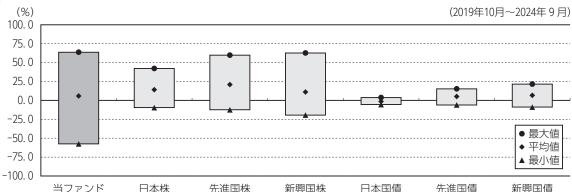


# 当ファンドの概要

商	品	分	類	追加型投信/海外/	加型投信/海外/その他資産					
信	託	期	間	2014年10月21日~20	4年10月21日~2024年10月18日					
運	用	方	針	信託財産の成長をめ	ざして運用を行ないます。					
主	当ファンド主要投資対象		当ファンド	イ.ケイマン籍の外国投資信託「CBREクラリオン・トラストーダイワ/クラリオン・アメリカンMLPファンド(円へッジクラス)」(以下「アメリカンMLPファンド(円へッジクラス)」といいます。)の受益証券(円建) ロ.ダイワ・マネー・マザーファンドの受益証券						
				ダイワ・マネー・ マザーファンド	本邦通貨表示の公社債					
_	- ,	ァン用方		①主として、アメリカンMLPファンド(円ヘッジクラス)の受益証券を通じて、エネルギーや天然資源等に関連する米国のMLP(マスター・リミテッド・パートナーシップ)等へ投資し、信託財産の成長をめざして運用を行ないます。ド ②当ファンドは、アメリカンMLPファンド(円ヘッジクラス)とダイワ・マネー・マザーファンドに投資するファンド・オ						
		ファン 用 方		①わが国の公社債を中心に安定運用を行ないます。 ②邦貨建資産の組み入れにあたっては、取得時に第二位(A – 2 格相当)以上の短期格付であり、かつ残存期間が 1 年未満の短期債、コマーシャル・ペーパーに投資することを基本とします。						
分	配	方	針		性除後の配当等収益と売買益(評価益を含みます。)等とし、原則として、継続的な分配を行なうことを 水準を勘案して分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行なわないことが					



## 代表的な資産クラスとの騰落率の比較



	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
最 大 値	63. 7	42. 1	59. 8	62. 7	3. 7	15. 3	21.5
平 均 値	5. 8	14. 1	20. 9	11. 1	△ 1.5	5. 2	6.8
最 小 値	△ 57. 5	△ 9.5	△ 12. 4	△ 19. 4	△ 5. 5	△ 6.1	△ 8.8

上記の図表は、ファンドと代表的な資産クラスを定量的に比較できるように作成したもので、過去5年間における年間騰落率(各月末における直近1年間の騰落率)の平均・最大・最小を、ファンドおよび他の代表的な資産クラスについて表示しています。

※各資産クラスは、ファンドの投資対象を表しているものではありません。

- ※ファンドの年間騰落率は、分配金(税引前)を分配時にファンドへ再投資したものとみなして計算したものであり、実際の基準価額に基づいて 計算した年間騰落率とは異なる場合があります。
- ※ファンドの年間騰落率において、過去5年間分のデータが算出できない場合は以下のルールで表示しています。
  - ①年間騰落率に該当するデータがない場合には表示されません。
  - ②年間騰落率が算出できない期間がある場合には、算出可能な期間についてのみ表示しています。
- ③インデックスファンドにおいて、①②に該当する場合には、当該期間についてベンチマークの年間騰落率で代替して表示します。
- ※上記の騰落率は直近月末から60カ月さかのぼった算出結果であり、決算日に対応した数値とは異なります。

※資産クラスについて

日本株……配当込みTOPIX

先進国株……MSCIコクサイ・インデックス (配当込み、円ベース)

新興国株………MSCIエマージング・マーケット・インデックス(配当込み、円ベース)

日本国債……NOMURA-BPI国債

先進国債………FTSE 世界国債インデックス (除く日本、円ベース)

新興国債………JPモルガン ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケッツ グローバル ダイバーシファイド(円ベース) ※指数について

●配当込みTOPIXの指数値および同指数にかかる標章または商標は、株式会社JPX総研または株式会社JPX総研の関連会社(以下「JPX」といいます。)の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用など同指数に関するすべての権利・ノウハウおよび同指数にかかる標章または商標に関するすべての権利はJPXが有し、ます。JPXは、同指数の指数値の算出または公表の誤謬、遅延又は中断に対し、責任を負いません。●MSCIコクサイ・インデックスおよびMSCIエマージング・マーケット・インデックスは、MSCIによって保証、推奨、または宣伝されるものではなく、MSCIは本ファンドまたは本ファンドが基づいているインデックスに関していかなる責任も負いません。免責事項全文についてはこちらをご覧ください。[https://www.daiwa-am.co.jp/specialreport/globalmanket/notice.html] ●NOMURA —BPI国債は、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社とに算出されます。NOMURA —BPI国債の市場全体の動向を表す投資収益指数で、一定の組み入れ基準に基づいて構成された国債ポートフォリオのパフォーマンスをもとに算出されます。NOMURA —BPI国債の知助財産権とその他一切の権利は野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社に帰属しています。また、同社は当該指数の正確性、完全性、有用性を保証するものではなく、ファンドの運用成果等に関して一切責任を負いません。●FTSE世界国債インデックスは、FTSE Fixed Income LLC により運営されている債券インデックスです。同指数はFTSE Fixed Income LLC により運営されている債券インデックスです。同指数はFTSE Fixed Income LLC が有しています。●JPモルガン ガバメント・ボンド・インデックスーエマージング・マーケッツ グローバル ダイパーシファイドは、信頼性が高いとみなす情報に基づき作成していますが、J.P. Morgan はその完全性・正確性を保証するものではありません。本指数は許諾を受けて使用しています。J.P. Morgan からの書面による事前承認なしに本指数を複製・使用・頒布することは認めらわていません。Copyright 2016、J.P. Morgan Chase & Co. All rights reserved. (注) 海外の指数は、為替へッジなしによる投資を規定して、円検算しております。



#### 当ファンドの組入資産の内容

最終期末における有価証券等の組み入れはありません。

#### 純資産等

西	B	第113期末	第114期末	第115期末	第116期末	第117期末	償還時
項	Н	2024年5月20日	2024年6月20日	2024年7月22日	2024年8月20日	2024年 9 月20日	2024年10月18日
純資産総額		144, 300, 878円	140, 565, 334円	145, 558, 773円	139, 555, 347円	132, 269, 137円	110, 822, 843円
受益権総□数		397, 122, 615□	393, 097, 586□	385, 231, 436□	367, 308, 279□	352, 164, 706□	295, 308, 652□
1万口当り基	準価額	3, 634円	3, 576円	3, 778円	3, 799円	3, 756円	3,752円78銭

<sup>\*</sup>当作成期間(第113期〜償還期)中における追加設定元本額は2,364,137円、同解約元本額は119,082,537円です。

<sup>\*</sup>組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書(全体版)でご覧いただけます。

## ダイワ米国MLPファンド(毎月分配型) 通貨αコース

<5645>

#### 追加型投信/海外/その他資産

#### 受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げ ます。

当ファンドは、エネルギーや天然資源等に関連す る米国のMLP(マスター・リミテッド・パート ナーシップ) 等へ投資するとともに、通貨のオプ ション取引を組み合わせた通貨力バードコール戦略 を構築し、高水準のインカム性収益の確保と信託財 産の成長をめざしており、信託期間中につきまして もそれに沿った運用を行ないました。ここに、謹ん で運用状況と償還の内容をお知らせいたします。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い 申し上げます。

第113期	2024年 5月20日決算	第116期	2024年 8 月20日決算
第114期	2024年6月20日決算	第117期	2024年 9 月20日決算
第115期	2024年7月22日決算	満期償還	2024年10月18日償還

信還時 信還時	基準価額	2,984円51銭
<b>原</b>	純資産総額	571百万円
第113期~償還期	騰落率	△0. 5%
- <b>第Ⅱ3</b> 朔~阆煜别	分配金合計	50円

(注) 騰落率は分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなし て計算したものです。

### 大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

大和アセットマネジメント株式会社 東京都千代田区丸の内一丁目9番1号 https://www.daiwa-am.co.jp/

運用報告書に関するお問い合わせ先

▶ コールセンター 受付時間 9:00~17:00(営業日のみ) 0120-106212

お客様の口座内容に関するご照会は、 お申し込みされた販売会社にお問い合わせください。

■当ファンドは、信託約款において「運用報告書(全体版)」に記載すべき事項を電磁的方法によりご提供する ことを定めており、以下の手順で閲覧、ダウンロードいただけます。「運用報告書(全体版)」は受益者の方 からのご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社へお問い合わせください。



見やすく読みまちがえにくい ユニバーサルデザインフォント **FONT** を採用しています。





(注) 分配金再投資基準価額は、当作成期首の基準価額をもとに指数化したものです。

- \*分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- \*分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります(分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります)。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

#### ■基準価額・騰落率

第113期首:3,047円

償 還 時:2,984円51銭(既払分配金50円) 騰 落 率:△0.5%(分配金再投資ベース)

#### ■基準価額の主な変動要因

保有するMLP(※)市場へ投資するETF(上場投資信託)および川中事業を中心に行う普通株式が上昇したことはプラス要因となりましたが、米ドルが対円で下落(円高)したことはマイナス要因となりました。オプション部分については、プレミアム収入(円に対する米ドルのコール・オプション(買う権利)の売却)はプラス要因となりました。一方、円に対する米ドルのコール・オプションを売却している時期に米ドル円が上昇(円安)したことなどが基準価額の上昇を抑制しました。こうした市場の動きの中、基準価額は小幅に下落しました。

※MLPは、米国で行われている共同投資事業形態のひとつであり、その出資持分が米国の金融商品取引所等で取引されています。

#### 1万口当りの費用の明細

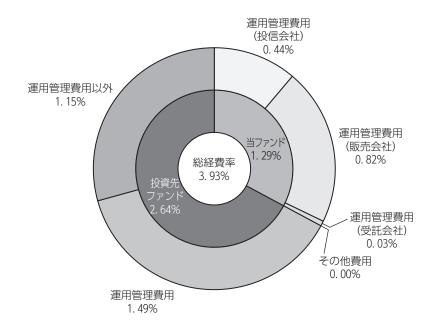
項目	<b>第113期</b> ~ (2024. 4. 23~	~ <b>償還期</b> -2024. 10. 18)	項 目 の 概 要
	金額	比 率	
信託報酬	20円	0. 631%	信託報酬=当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 <b>当作成期中の平均基準価額は3,108円です</b> 。
(投信会社)	(7)	(0. 215)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託会社への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
(販売会社)	(13)	(0. 404)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの 管理、購入後の情報提供等の対価
(受託会社)	(0)	(0. 013)	受託会社分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売買委託手数料	3	0. 102	売買委託手数料=当作成期中の売買委託手数料/当作成期中の平均受益 権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(投資信託受益証券)	(3)	(0. 102)	
有価証券取引税			有価証券取引税=当作成期中の有価証券取引税/当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
その他費用	_	_	その他費用=当作成期中のその他費用/当作成期中の平均受益権口数
合 計	23	0. 734	

- (注1) 当作成期中の費用 (消費税のかかるものは消費税を含む) は追加、解約によって受益権□数に変動があるため、項目の概要の簡便 法により算出した結果です。
- (注2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。
- (注3) 各比率は1万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第3位未満を四捨五入してあります。
- (注4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券(マザーファンドを除く。)がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

#### 参考情報·

#### ■総経費率

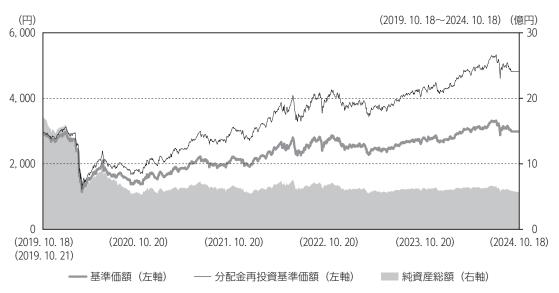
当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を、期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額(1口当り)を乗じた数で除した総経費率(年率)は3.93%です。



総経費率 ( ① + ② + ③ )	3. 93%
①当ファンドの費用の比率	1. 29%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	1. 49%
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	1. 15%

- (注1) 投資先ファンドとは、当ファンドが組み入れている投資信託証券(マザーファンドを除く。)です。
- (注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。
- (注3) 投資先ファンドにおいて、MLP投資に関連して還付が見込まれる税金および還付された税金を含みません。
- (注4) 各比率は、年率換算した値です。
- (注5) ①の費用は、1万口当りの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。
- (注6) ①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含みます。
- (注7) ①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。
- (注8) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

#### 最近5年間の基準価額等の推移について



(注) 分配金再投資基準価額は、2019年10月18日の基準価額をもとに指数化したものです。

		2019年10月21日 期初	2020年10月20日 決算日	2021年10月20日 決算日	2022年10月20日 決算日	2023年10月20日 決算日	2024年10月18日 償還時
基準価額	(円)	2, 907	1, 437	2, 201	2, 744	2, 795	2, 984. 51
期間分配金合計 (税込み)	(円)	_	380	240	120	120	110
分配金再投資基準価額の 騰落率	(%)		△39. 6	74. 4	31. 2	6. 7	10.8
純資産総額	(百万円)	1, 690	548	663	687	628	571

<sup>(</sup>注1) 比率は小数点第1位未満を四捨五入してあります。

<sup>(</sup>注2) 当ファンドは、ファンドの運用方針に対して適切な比較指数がないため、ベンチマークおよび参考指数を記載しておりません。

#### 設定以来の投資環境について

 $(2014. 10. 21 \sim 2024. 10. 18)$ 

#### ■MLP市況

<u>MLP市況は上昇しました。</u>

MLP市場は、当ファンド設定時から2015年にかけて、軟調な原油価格やチャイナショックなどを受け、下落しました。2016年は、原油価格が底打ちしたこと、また米国トランプ政権の税制改革やインフラ投資政策への期待感などから、堅調に推移しました。2017年から2019年にかけては、米中貿易摩擦による地政学リスクの高まりが警戒される中で、一進一退の推移となりました。2020年に入ると、新型コロナウイルスの感染拡大に伴い市場のボラティリティが高まったことから一時大幅に下落しましたが、その後、米国や欧州を中心とした積極的な金融・財政政策を受けて反発し、2021年にかけて堅調に推移しました。また2022年以降も、グローバルな供給制約などを受けたインフレの加速や、ロシア・ウクライナ情勢および中東情勢の緊迫化による地政学リスクの高まりなどを背景に下落する場面も見られましたが、インフレ鈍化の兆候や利下げ観測の高まり、底堅い原油価格などが下支えとなり、上昇基調が継続しました。

#### ■為替相場

米ドル円為替相場は上昇(円安)しました。

米ドルの対円為替相場は、当ファンド設定時から2015年中ごろにかけて、日銀の量的・質的金融緩和政策の拡大などが材料視され、円安米ドル高が進行しました。2019年末にかけては、英国のEU(欧州連合)離脱や米中貿易摩擦を背景にリスク回避の動きが広まったことから、米ドルは対円で下落しました。2020年は、新型コロナウイルスの世界的な感染拡大からリスク回避の動きが広がったことなどによる、一時的な円買いの動きから円高米ドル安基調で推移する場面も見られました。2021年以降は、米国では、金融政策正常化が意識されて米国金利が上昇した一方で、日銀は断続的に金利上昇を抑制する姿勢を示したことから、日米の金融政策の相違が意識され、円安米ドル高が進行しました。

#### ■通貨オプション相場

通貨オプションのボラティリティは上昇しました。

通貨オプション相場では、当ファンド設定時から2016年にかけて、原油価格の急落などから市場のリスク回避姿勢が高まり急速に円高が進んだことや、英国のEU(欧州連合)離脱を問う国民投票があったことなどから、ボラティリティは上昇しました。2017年以降は、新型コロナウイルスへの懸念が高まったことなどから一時的にボラティリティが急上昇する場面が見られたものの、米ドル円が落ち着いた推移を続ける中で、ボラティリティは低下傾向となりました。2022年以降は、ウクライナ情勢が緊迫化したことや円安が加速したことなどから、為替相場の先行き不透明感が高まり、ボラティリティは上昇しました。

#### 信託期間中の運用方針

#### ■当ファンド

主として、「アメリカンMLPファンド(通貨αクラス)」の受益証券を通じて、エネルギーや 天然資源等に関連する米国のMLP(マスター・リミテッド・パートナーシップ)等へ投資すると ともに、通貨のオプション取引を組み合わせた通貨カバードコール戦略を構築し、高水準のインカム性収益の確保と信託財産の成長をめざします。

※アメリカンM L P ファンド(通貨 $\alpha$ クラス):C B R E クラリオン・トラスト-ダイワ/クラリオン・アメリカンM L P ファンド(通貨 $\alpha$ クラス)

#### ■アメリカンMLPファンド(通貨αクラス)

良好な財務体質、生産性の高い地域における施設の保有、低いカウンターパーティーリスク(取引相手の信用リスク)、優れた経営陣を有する企業が選好されると考えており、これらを重視したポートフォリオを構築します。

円に対する米ドルのコール・オプション(買う権利)を売却することで、オプションのプレミアム収入の確保をめざします。また、オプションのカバー率は、保有する米ドル建資産の評価額の50%程度を維持する方針です。

#### ■ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

#### 信託期間中のポートフォリオについて

 $(2014.10.21 \sim 2024.10.18)$ 

#### ■当ファンド

当ファンドは、「アメリカンMLPファンド(通貨 $\alpha$ クラス)」と「ダイワ・マネー・マザーファンド」へ投資するファンド・オブ・ファンズです。ファンド設定以降、「アメリカンMLPファンド(通貨 $\alpha$ クラス)」を高位に組み入れました。

#### ■アメリカンMLPファンド(通貨αクラス)

マクロ経済、エネルギー需要、地域別、業種別の動向を分析するトップダウン・アプローチと、個別銘柄の配当の安定性や成長性、経営陣の質、バリュエーションなどに焦点を当て分析するボトムアップ・アプローチを組み合わせて、ポートフォリオを構築しました。セクターについては、パイプラインや貯蔵施設などを運営する川中事業に焦点を当て、地域やエネルギー種別(天然ガス、原油、石油精製品、天然ガス液)、川中事業における役割(集積、処理、輸送、貯蔵)などを考慮して分散投資を行いました。

なお、ファンド満期償還時の税制面への対応のため、2022年12月に保有するMLPをすべて売却し、MLP市場へ投資するETF(上場投資信託)および川中事業を中心に行う普通株式を組み合わせたポートフォリオへ切替えを行いました。

円に対する米ドルのコール・オプション(買う権利)を売却することで、オプションのプレミアム収入の確保をめざしました。また、オプションのカバー率は、保有する米ドル建資産の評価額の50%程度を維持しました。

#### **■**ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債、現先取引やコール・ローン等による運用を行いました。

#### ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

#### 分配金について

1万口当り、第1期〜第47期各70円、第48期〜第60期各45円、第61期〜第69期各30円、第70期〜第82期各20円、第83期〜第117期各10円の収益分配を行いました。

また、第113期~第117期の収益分配金の決定根拠は下記「収益分配金の計算過程(1万口当り)」をご参照ください。なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用いたしました。

#### ■分配原資の内訳(1万口当り)

			第113期	第114期	第115期	第116期	第117期	
項目			2024年4月23日 ~2024年5月20日	2024年5月21日 ~2024年6月20日	2024年6月21日 ~2024年7月22日	2024年7月23日 ~2024年8月20日	2024年8月21日 ~2024年9月20日	
当期	引分配金(税込る	み) (円)	10	10	10	10	10	
	対基準価額比	率 (%)	0.32	0.32	0.30	0.32	0. 33	
	当期の収益	(円)	5	3	5	2	2	
	当期の収益以	外 (円)	4	6	4	7	7	
翌期	繰越分配対象	額(円)	390	383	379	372	364	

- (注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。
- (注2) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金(税込み)に合致しない場合があります。
- (注3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金 (税込み) の期末基準価額(分配金込み)に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。
- (注4) 投資信託の計理上、「翌期繰越分配対象額」は当該決算期末時点の基準価額を上回る場合がありますが、実際には基準価額を超える額の分配金をお支払いすることはございません。

#### ■収益分配金の計算過程(1万口当り)

	項			第113期		第114期		第115期		第116期		第117期	
(a)	経費控除後の	配当等収益	/	5.64円	/	3. 13円	✓	5.74円	<b>✓</b>	2.58円	/	2.39円	
(b)	経費控除後の有価語	証券売買等損益		0.00		0.00		0.00		0.00		0.00	
(c)	収益調整金		/	395. 04	/	390. 69	✓	383. 82	/	379. 57	/	372. 15	
(d)	分配準備積立	立金		0.00		0.00		0.00		0.00		0.00	
(e)	当期分配対象額(a	a+b+c+d		400.69		393. 82		389. 57		382. 15		374. 55	
(f)	分配金			10.00		10.00		10.00		10.00		10.00	
(g)	翌期繰越分配対象	聚額 (e−f)		390. 69		383. 82		379. 57		372. 15		364. 55	

(注) ✓を付した該当項目から分配金を計上しています。

受益者のみなさまにおかれましては、当ファンドをご愛顧いただき厚く御礼申し上げます。今後とも証券投資信託の運用につきましては、受益者のみなさまのご期待に沿えますよう万全を期して努力する所存でございますので、一層のご愛顧を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

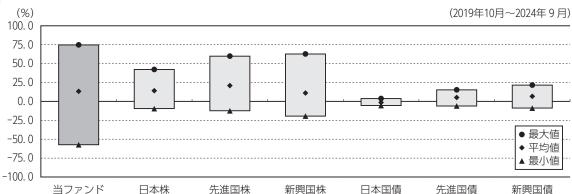


## | 当ファンドの概要

商	品	分	類	追加型投信/海外/	その他資産										
信	託	期	間	2014年10月21日~20	24年10月18日										
運	用	方	針	信託財産の成長をめ	信託財産の成長をめざして運用を行ないます。										
主	要投	資対	象	当ファンド	イ. ケイマン籍の外国投資信託「CBREクラリオン・トラスト-ダイワ/クラリオン・アメリカン MLPファンド(通貨 $\alpha$ クラス)」(以下「アメリカンMLPファンド(通貨 $\alpha$ クラス)」といいます。)の受益証券(円建) ロ. ダイワ・マネー・マザーファンドの受益証券										
				ダイワ・マネー・ マザーファンド	本邦通貨表示の公社債										
	①主として、アメリカンMLPファンド(通貨αクラス)の受益証券を通じて、エネルギーや天然資源等に関連する米MLP(マスター・リミテッド・パートナーシップ)等へ投資するとともに、通貨のオプション取引を組み合わせた通バードコール戦略を構築し、高水準のインカム性収益の確保と信託財産の成長をめざします。 ②当ファンドは、アメリカンMLPファンド(通貨αクラス)とダイワ・マネー・マザーファンドに投資するファンド運用方法 ブ・ファンズです。通常の状態で、アメリカンMLPファンド(通貨αクラス)の投資割合を高位に維持することを基本ます。 ③アメリカンMLPファンド(通貨αクラス)では、為替変動リスクを回避するための為替ヘッジは原則として行なした。														
		ファン 用 方		①わが国の公社債を中心に安定運用を行ないます。 ②邦貨建資産の組み入れにあたっては、取得時に第二位(A – 2 格相当)以上の短期格付であり、かつ残存期間が1年未満の 短期債、コマーシャル・ペーパーに投資することを基本とします。											
分	配	方	針		分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益(評価益を含みます。)等とし、原則として、継続的な分配を行なうことを 目標に、基準価額の水準を勘案して分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行なわないことが あります。										



### 代表的な資産クラスとの騰落率の比較



	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
最 大 値	74. 7	42. 1	59. 8	62. 7	3. 7	15. 3	21.5
平均値	13. 4	14. 1	20. 9	11. 1	△ 1.5	5. 2	6.8
最 小 値	△ 57. 3	△ 9.5	△ 12. 4	△ 19. 4	△ 5. 5	△ 6.1	△ 8.8

上記の図表は、ファンドと代表的な資産クラスを定量的に比較できるように作成したもので、過去5年間における年間騰落率(各月末における直近1年間の騰落率)の平均・最大・最小を、ファンドおよび他の代表的な資産クラスについて表示しています。

※各資産クラスは、ファンドの投資対象を表しているものではありません。

- ※ファンドの年間騰落率は、分配金(税引前)を分配時にファンドへ再投資したものとみなして計算したものであり、実際の基準価額に基づいて 計算した年間騰落率とは異なる場合があります。
- ※ファンドの年間騰落率において、過去5年間分のデータが算出できない場合は以下のルールで表示しています。
  - ①年間騰落率に該当するデータがない場合には表示されません。
  - ②年間騰落率が算出できない期間がある場合には、算出可能な期間についてのみ表示しています。
  - ③インデックスファンドにおいて、①②に該当する場合には、当該期間についてベンチマークの年間騰落率で代替して表示します。
- ※上記の騰落率は直近月末から60カ月さかのぼった算出結果であり、決算日に対応した数値とは異なります。

※資産クラスについて

日本株……配当込みTOPIX

先進国株……MSCIコクサイ・インデックス(配当込み、円ベース)

新興国株………MSCIエマージング・マーケット・インデックス(配当込み、円ベース)

日本国債……NOMURA-BPI国債

先進国債……FTSE 世界国債インデックス (除く日本、円ベース)

新興国債………JPモルガン ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケッツ グローバル ダイバーシファイド(円ベース) ※指数について

●配当込みTOPIXの指数値および同指数にかかる標章または商標は、株式会社JPX総研または株式会社JPX総研の関連会社(以下「JPX」といいます。)の知的財産であり、指数の資出、指数値の公表、利用など同指数に関するすべての権利・ノウハウおよび同指数にかかる標章または商標に関するすべての権利はJPXが有します。JPXは、同指数の指数値の算出または公表の誤謬、遅延又は中断に対し、責任を負いません。●MSCIコクサイ・インデックスおよびMSCIエマージング・マーケット・インデックスは、MSCI Inc. (「MSCI」)が開発した指数です。本ファンドは、MSCIによって保証、推奨、または宣伝されるものではなく、MSCIは本ファンドまたは本ファンドが基づいているインデックスに関していかなる責任も負いません。免責事項全文についてはこちらをご覧ください。[https://www.daiwa-am.co.jp/Specialreport/globalmarket/notice.html] ●MOMURA-BPI国債は、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社が公表する国内で発行された公募利付国債の市場全体の動向を表す投資収益指数で、一定の組み入れ基準に基づいて構成された国債ポートフォリオのパフォーマンスをもとに算出されます。NOMURA-BPI国債の知的財産権とその他一切の権利は野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社に帰属しています。また、同社は当該指数の正確性、完全性、有用性を保証するものではなく、ファンドの連用成果等に関して一切責任を負いません。●FYSE 世界国債インデックスは、FTSE Fixed Income LLC により運営されている債券インデックスです。同指数はFTSE Fixed Income LLC により運営されている債券インデックスです。同指数はFTSE Fixed Income LLC が有しています。●JP モルガン ガバメント・ボンド・インデックスーエマージング・マーケッツ グローバル ダイパーシファイドは、信頼性が高いとみなす情報に基づき作成していますが、J.P. Morgan はその完全性・正確性を保証するものではありません。本指数は許諾を受けて使用しています。J.P. Morgan からの書面による事前承認なしに本指数を複製・使用・頒布することは認められていません。Copyright 2016、J.P. Morgan Chase & Co. All rights reserved. (注)海外の指数は、為替へッジなしによる投資を規定して、円検算しております。



#### 当ファンドの組入資産の内容

最終期末における有価証券等の組み入れはありません。

#### 純資産等

項		第113期末	第114期末	第115期末	第116期末	第117期末	償還時
		2024年5月20日	2024年6月20日	2024年7月22日	2024年8月20日	2024年 9 月20日	2024年10月18日
純資産総額		639, 278, 161円	633, 485, 553円	654, 254, 904円	616, 303, 481円	584, 469, 337円	571, 381, 377円
受益権総口数		2, 043, 616, 508	2, 029, 033, 815	1, 978, 801, 832	1, 966, 855, 185	1, 958, 703, 433 🗆	1, 914, 486, 930
1万口当り基	準価額	3, 128円	3, 122円	3, 306円	3, 133円	2, 984円	2,984円51銭

<sup>\*</sup>当作成期間(第113期~償還期)中における追加設定元本額は13,642,556円、同解約元本額は181,429,057円です。

<sup>\*</sup>組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書(全体版)でご覧いただけます。